

会 議 録

会 議 名	令和2年度第1回野田市保健医療問題審議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	第2次野田市歯科口腔保健計画の策定について（公開）
日 時	令和2年8月19日（水） 午前11時から午前11時30分まで
場 所	保健センター3階大会議室
出席委員氏名	鈴木 隆一、石塚 勝巳、清岡 智、太田 央子、 張替 洋子、大島 恵子、古澤 千鶴
欠席委員氏名	門倉 正樹、岡田 吉郎、小張 力、種村 伴子、 秋田 茂、渡辺 浩之、松本 良二
事務局等	鈴木 有（市長）、直井 誠（保健福祉部長）、池田 亜由美（保健センター長）、岡田 勇貴（保健センター長 補佐）、龍野 淳（保健センター長補佐）、秋鹿 弥由 紀（保健センター母子保健係長）、中山 知子（保健セン ター健康増進係長）、西野 彩（保健センター技師補）
傍 聴 者	無し
<p>令和2年度第2回野田市保健医療問題審議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。</p> <p>岡田保健センター長補佐 定刻となったので、令和2年度第1回野田市保健医療問題審議会を開催する。本日の出席状況及び野田市保健医療問題審議会条例第6条第2項の規定により、会議は成立していることについて報告する。なお、会議録作成のため、録音することに了解をお願いする。本審議会の公開、傍聴については、原則公開とされていることを報告する。次に、資料の確認として、事前に委員に配布した資料、座席表、委員名簿である。5月26日に野田市医師会の役員改選が行われ、会長の金本秀之氏が退任され、副会長の鈴木隆一氏が会長に就任</p>	

されたことから、現在、保健医療問題審議会の会長が不在となっており、今回は石塚副会長より招集させていただいたことを報告する。市長より挨拶をお願いします。

(市長挨拶)

岡田保健センター長補佐 4月1日の人事異動に伴い、関係教育機関の職員として小中学校長会から推薦をいただき、石井徳子様に代わり大島恵子様が、関係教育機関の職員として県立野田看護専門学校から推薦をいただき、高瀬峰子様に代わり古澤千鶴様が本審議会の委員としてお願いします。交代された大島委員、古澤委員より自己紹介をお願いします。

(大島委員、古澤委員挨拶)

岡田保健センター長補佐 会長が選出されるまでの間、副会長に議事進行をお願いします。

石塚副会長 本日、傍聴の申込みはなかったが、会議の途中に傍聴の希望があった場合には、5人以内で入室を認めることとする。それでは、会長の選出について議題とする。野田市保健医療問題審議会条例第5条第2項の規定により、会長は委員の互選により選任するとなっていることから、選任の方法についてお諮りする。

清岡委員 指名推薦がよろしいかと。

石塚副会長 指名推薦との発言があったがいかがか。

(異議なしの声あり)

石塚副会長 異議がないようなので、指名推薦とさせていただく。どなたか推薦をお願いしたい。

清岡委員 鈴木委員を推薦する。

石塚副会長 鈴木委員との推薦があったがいかがか。

(異議なしの声あり)

石塚副会長 異議がないようなので、会長を鈴木委員にお願いいたします。条例第6条第1項により、会長が会議の議長となると定められているので、議長を鈴木委員に交替させていただく。それでは、会長就任の挨拶をお願いします。

(会長挨拶)

鈴木会長 本日、市長より、第2次野田市歯科口腔保健計画の策定について、本審議会が諮問を受けることとなっているので、市長から諮問をお受けする。

(市長が諮問書を読み上げ、会長に渡す)

鈴木会長 市長から第2次野田市歯科口腔保健計画の策定について諮問を受けた。

諮問書の写しを委員の皆様配布する。それでは、本諮問にかかる要旨について事務局から説明をお願いします。

池田保健センター長 (本諮問にかかる要旨について説明する。)

鈴木会長 諮問について説明があったが、答申までの間、委員の皆様には審議をお願いします。市長については、公務のためここで退席する。

(市長退席)

鈴木会長 野田市における歯科口腔保健の現状と課題について、事務局から説明を求める。

岡田センター長補佐 (第2次野田市歯科口腔保健計画の策定について説明する。)

鈴木会長 ただ今の説明に対する質疑に入る。質問や意見があればお願いします。

石塚委員 資料2の第1次計画の達成状況について、三角印が多くて数値は改善しているが、生活習慣病などの数値はなかなか改善しない中で、歯科についてはそれなりに気を使って良い方向に向いているという感想を持っている。質問だが、資料1の7ページと8ページ、中学生の課題で、処置完了の割合が減少し、学校健診の結果を治療につなげられていない家庭が多くなっているという評価をしているが、悪いという評価をしているのは、データの捉え方が違うのではないか。処置歯がないのは良いことだし、その割合は非常に増えている。全体を100とすれば、処置完了と未処理の割合は減っているのだから、改善していると捉えるのが正しいのではないか。これでは悪い表現になっているので、どうなのかという質問である。

岡田センター長補佐 委員の御指摘のとおり、悪い評価ではなく改善したという評価をすべきであるので、課題と評価については精査をして、次回審議をいただくための素案の中で、正しい評価を提示したいと考える。

鈴木会長 ほかに質問や意見がないので、出された意見を基に、事務局で計画の素案を作成していただき、次回の会議で御審議をお願いしたい。本日の議事は全て

終了したが、事務局から何かあるか。

池田センター長 本審議会における委員の任期について、今年度9月30日で任期満了になることから、今後、関係機関に対して推薦の手続を行い、委員の委嘱をさせていただく。次回の審議会については、11月上旬を予定している。審議の内容については、パブリック・コメント手続に向けて、素案の審議をお願いしたい。次回の審議会の日程について、決まり次第、連絡する。

鈴木会長 以上で令和2年度第1回野田市保健医療問題審議会を終了する。